

# 桂坂山の手倶楽部だより (第1号)

平成17年8月1日発行  
桂坂山の手倶楽部だより編集委員会

## ご挨拶

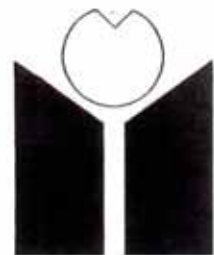
平成4年4月本倶楽部が創設され、この程14年目に入りましたが、当初会員150名、年間予算50万円でスタートしたものが、歴代会長・役員諸氏の並々ならぬご尽力により、会員235名、年間予算も127万円と大きく飛躍出来ましたことは、ご同慶の至りでございます。

分科会活動も当初の8分科会が今や15分科会と倍増を果たし、会員の皆様が趣味、習い事、スポーツの夫々の分野で健康で楽しい日々を送っておられます。倶楽部活動の基本となる分科会活動については今後とも会員皆様方のご意向を承り、充実発展を期したく存じております。

この度会員全員が各種情報を共有し倶楽部活動に気軽に参画出来るように、広報誌を発行することになりました。「会員投稿欄」も設けますので皆様奮ってご参加頂き、充実した広報誌とするようご協力頂きますようよろしくお願い申し上げます。

簡単ですが広報誌発行に際してのご挨拶と致します。

桂坂山の手倶楽部  
会長 山本 昭



山の手倶楽部  
シンボルマークA案

イメージ  
『支え合う心』

## 役員会だより

### 1. 分科会責任者・役員合同会議 (7/10)

去る7月10日に分科会責任者・役員合同会議を開催し、分科会助成金のあり方等について検討致しました。その結果、会費の活用方法の不公平感を解消するために、来年度以降分科会への助成金をなくし、その代わり年会費を減らしてこれを分科会に回していく方向が良いとの意見が大勢を占めました。今後これを受けて役員会で細部を詰めて総会に諮ることになりました。

尚、この問題を検討するに先立ち近隣老人クラブの実態を調査致しましたが、当倶楽部のように単位倶楽部をまとめて全体でサークル活動をしているクラブは少なく、またサークルへの助成金もないか、あっても僅かであることが分かりました。

### 2. 役員会 (7/31)

#### 1) シンボルマークについて

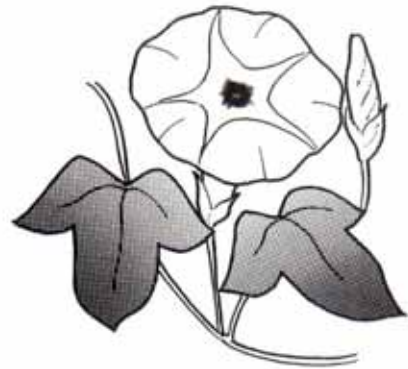
先のお知らせ (No.2) で山の手倶楽部のシンボルマークを応募したところ、6点の案が寄せられました。しかし、今後このマークを当倶楽部のシンボルにしていくには若干応募案が少ないと思われますので、再度皆様の応募を募ることになりました。8月31日までに単位倶楽部会長まで奮ってご提出願います (用紙等自由)。応募された一例を上段に掲げます。

#### 2) 分科会助成金について

分科会責任者との合同会議の方向付けを参考に検討の結果、「分科会助成金をなくして、代わりに年会費を1,200円削減し、1,800円にする。」との案にまとまりました。次回の合同会議 (9/4)

で審議する予定です。

- 3) 「第12回趣味の作品展」の準備について  
10/27,28に開催予定の作品展の準備事項について確認をしました。この中で、分科会会員以外の方からの出展が10点ほど予定されているとの報告がありました。
- 4) 「カザラッカコンサート」が10月15日に開催される予定ですが、詳細は未定との報告がありました。



## 区老連だより

### 1. 福利厚生委員会

○区老連主催の「囲碁・将棋大会」が7月2日に開催され、当倶楽部から14名の会員が参加されました。その結果、当倶楽部の以下の会員の方が入賞されました。おめでとうございます。

囲碁の部： 名人クラス 準優勝 矢部 邦昭 氏 (第2倶楽部)

Aクラス 準優勝 高木 昭 氏 (第3倶楽部)

Cクラス 優勝 西川 三郎 氏 (第4倶楽部)

Dクラス 優勝 佐久間 皓 氏 (第2倶楽部)

将棋の部： 名人クラス 優勝 中西 潔 氏 (第2倶楽部)

○「カラオケの集い」(平成17年10月7日13:00~16:00、ふれあい会館にて)の参加希望者の募集があります。当倶楽部から2名出演出来ますので、希望される方は9月10日までに単位倶楽部会長まで申し出てください。尚、過去に出演された方はご遠慮願います。

○「宇奈月温泉旅行」が平成17年11月24日~25日に予定されていますが、詳細は追って連絡があります。

### 2. 文化委員会

○「第15回文化芸能祭」が平成17年11月7日に例年通りウエスティで開催されます。当倶楽部からコーラス分科会の皆さんが出演される予定ですが、詳細は未定です。

### 3. 体育委員会

○「第13回グラウンドゴルフ大会」が6月9日に開催され、当倶楽部から13名の会員が参加されました。

### 4. 広報委員会

○機関紙(53号)の原稿を多数お寄せ頂きありがとうございました。8月15日発行の予定です。

## 分科会だより

### 1. 園芸分科会

○去る6月24日に、長年園芸講師を主体的に担当されてこられた木村義成氏をご逝去され、もう1人の講師の青井勇氏だけでは荷が重いので後任の講師を捜している状況です。適任者が居られましたら責任者の松本初次氏(☎393-8702)にご連絡下さい。

### 2. ボウリング分科会

○各分科会の活動日がだぶると参加者が減少するので、お互い重ならないように調整して欲しい。

## その他のお知らせ



## 1. 桂坂小学校交流行事実施

○去る7月7日桂坂小学校1年生との交流行事があり、当倶楽部の会員12名が出席して1年生と一緒に遊びました。参加された会員の方々ありがとうございました。また、その際、子供達が育てた朝顔の苗を頂き会員の皆様にも配布致しましたので、お受け取りになられた方は大事に育てて頂ければと思います。

## 2. 作品展担当からのお願い

○来る10月27日～28日に第11回趣味の作品展が開催されます。例年園芸分科会より多くの盆栽が出品されていましたが、今年は多くの出品をして頂いていた木村氏がお亡くなりになり出品数が減る可能性があります。会員の皆様の中で盆栽を育てておられる方がおられましたら、是非出品して頂きたいと思っております。出品して頂ける方は園芸分科会の松本初次（☎393-8702）、作品展担当の川上英子（☎333-1128）又は八木兵司（☎332-5881）まで10月15日までにご連絡下さい。

## 会員投稿欄

### 1. 「西京区の仲間入り」

第1倶楽部 松尾 隆夫 氏

（当投稿文は桂坂自治連合会発足当時の状況を、当時の事務局長であったかえで自治会の松尾隆夫氏が纏めておられたのをお借りして抜粋掲載させて頂きました。）

1582年明智光秀が本能寺に奇襲をかけた時に通った唐櫃越を北限に、日本最古の街道と言われる山陰街道の、中山、塚原、杵掛、大枝と連なる街街を南限にして30年前から開発されたのが桂坂である。

#### 【経過】

- 60年 11月・桂坂販売開始
- 61年 4月・入居始まる
- 63年 4月・桂坂かえで自治会発足
- 5月・桂坂しらかば自治会発足
- 元年 4月・桂坂小学校、大枝中学校開校
- ・桂坂さつき自治会発足
- 7月・桂坂自治連合会発足
- 11月・桂坂あかしあ自治会発足
- 2年 4月・桂坂ひいらぎ自治会発足
- 3年 4月・桂坂ぼぶら自治会発足
- ・桂坂つばき自治会発足

#### 【自治会名】

最初の「かえで自治会」の名前を決める時、鳥、木、花の多い桂坂、樹木の名前を付けようと「かえで」に、更に子供達も親しめるようにとひらがなにすることを決まる。

その後の自治会もこれに賛同して頂き「しらかば」「さつき」と順次決まり、3自治会が樹木の名前に決まれば、今後も樹木名になるかなどやや安心する。その後、「あかしあ」「ひいらぎ」「つばき」「ぼぶら」「はなみずき」「けやき」「にれのき」「さくら」と11自治会となり、樹木名が定着した。



### 2. 「桂坂山の手倶楽部発足について」

第1倶楽部 松尾 隆夫 氏

（当資料も同上です。）

(1)「桂坂自治連合会だより（第4号：平成4年2月10日発行）」より

「桂坂山の手倶楽部発足迫る」

桂坂在住60歳以上の方々を募集した所、ご夫妻でご入会の方、80歳以上の方のご入会等約150人の申込者がありました。正式発足は4月26日に予定し、現在それに向かって準備

委員の方々が会則や行事計画を鋭意検討中です。既に昨年末にアンケート調査も実施し皆さんの要望、企画の集計結果を参考に考慮中です。

これからの桂坂住民の中心的倶楽部を目指しハイセンスな、魅力ある組織と活動をして、より多くの入会者がある会にするよう努力していくつもりです。



(2) 「山の手倶楽部発足の覚え」より

・ネーミング : 当時さつき自治会長の南部喜八郎さんが命名されたと記憶する。

・第1回総会 : 平成4年4月26日に桂坂小学校ふれあいルームで総会を行いスタートする。総会后桂坂野鳥園で懇親会を行う。

山の手倶楽部第1回総会風景

・分科会 : 最初は「歩こう会」「写真」「園芸」「囲碁将棋」等8分科会が出来る。

・新年会 : 「歩こう会」がひいらぎ自治会館を借りて新年会を始めたのが最初である。その後新年互礼会として全体の会になった。

3. 「元気な中老の独り言」

第2倶楽部 乗本 政三 氏

中高年とか高齢者とかの定義は、曖昧である。広辞苑を開くと初老とは40歳からとある。これが老いのはじまりとは・・・

働き盛りの歳なのに何か自分の歩んだ道と違ったものを感じる。中老は、50歳からとある。その説で言うと60歳が大老か？70歳を越えた私は、なんと言うのであろうか・・・

終老と言うことになってしまうのではないか。

広辞苑さん高齢の進んだ今日、老いの定義も見直して欲しいものである。(60歳：初老、70歳：中老、80歳：大老に)

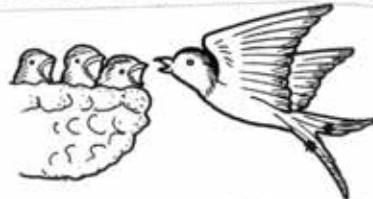
自分流に私もまだまだ元気な中老であるが、老人倶楽部にはいるには相当抵抗があった。しかし、ボーリング、グラウンドゴルフがやりたいので入会した。

この桂坂は、老人倶楽部ではなく山の手倶楽部と言う名称。誰が付けのか気の利いた名称である。

中老になりゴルフは卒業。今や高齢者に大人気のグラウンドゴルフに熱中している。知らず知らず楽しく4ラウンド(約4000歩)歩いて健康保持に努めている。

ボーリングも又楽しいあの快音、京都エミナースで月2回開催。心地よい汗をかいている。

皆さん会員以外の方を山の手倶楽部に誘ってグラウンドゴルフやボーリングを楽しんでみませんか・・・



原稿募集のお願い

今回第1号をお届け致しましたが、このような広報誌をとりあえず年4回発行することにしていきます。より良い広報誌とするよう会員の皆様の原稿(随筆、俳句、短歌、内容等に関する注文その他何でも可)をお待ちしています。次回発行は11月1日ですので、10月15日までに下記の編集委員までお届け下さい。

編集委員

第1倶楽部：米倉 英彦 (☎332-7836)

第2倶楽部：乗本 政三 (☎332-7277)

第3倶楽部：松本 昭子 (☎331-6641)

第4倶楽部：辻 タカ枝 (☎331-2298)

事務局担当：高橋 俊樹、八木 兵司